神奈川県立特別支援学校

令和６年度県立特別支援学校高等部入学者選抜に係る学校説明会資料について

令和５年６月
神奈川県立秦野支援学校
知的障害教育部門

目次

- 1　学校紹介（知的障害教育部門高等部を中心に）
- 2　児童生徒数
- 3　学校目標
- 4　各教室案内
- 5　学校の授業（日課表と各授業の説明）
- 6　学校の行事
- 7　学校の給食
- 8　進路指導について（卒業後の進路）
- 参考：校舎・教室配置図
- 参考：学校までの案内図（通学について）

1　学校紹介（知的障害教育部門高等部を中心に）

秦野支援学校　落合校舎は、
山々や緑いっぱい、豊かな自然に囲まれた学校です。

2　児童生徒数

5月1日現在

課程・学部別児童生徒在籍数

学部		小学部							中学部				高等部				合計
学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
病弱　A課程（準ずる）	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
病弱　A課程（在宅訪問）	男												0	0	0	0	0
	女												0	0	0	0	0
病弱　B課程（重複障害）	男	0	1	0	0	1	2	4	0	0	0	0					4
	女	0	0	1	3	1	0	5	1	0	0	1					6
病弱　B課程（施設訪問）	男												0	1	1	2	2
	女												0	1	1	2	2
病弱　C課程（訪問 かもめ学級）	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1					1
	女	0	1	0	0	1	1	3	1	1	1	3					6
知的　D（訪問 弘済学園）	男	1	3	6	3	3	1	17	4	9	7	20					37
	女	1	1	0	0	2	1	5	0	1	0	1					6
知的　E（高等部）	男												22	16	16	54	54
	女												9	6	5	20	20
知的　F（小中学部）	男	4	2	4	4	3	1	18	3	1	4	8					26
	女	1	0	0	0	1	1	3	1	0	0	1					4
肢体　G（小中高）	男	0	0	1	0	1	1	3	2	1	1	4	1	0	1	2	9
	女	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	4	1	0	1	2	7
計		7	8	12	10	13	9	59	13	15	15	43	33	24	25	82	184

※Ｂ課程は独立行政法人国立病院機構神奈川病院、Ｃ課程は神奈川リハビリテーション病院に入院の児童生徒、Ｄは鉄道弘済会総合福祉センター弘済学園に在園の児童生徒を表します。

3　学校目標

～共生社会(Ｄiversity＆Inclusion)の実現に向けて～

ともにくらし　ともにいきる

「ともに歩む総合的な特別支援学校」をめざします

ともにまなび　ともにそだつ

【めざす学校像】

〇多様な教育部門を持つ「ともに歩む総合的な特別支援学校」

・児童生徒が「毎日行きたい」と感じる学校
・保護者が子どもを「毎日登校させたい」と感じる学校
・地域や関係機関が「利用したい、応援したい、手をつなぎたい」と感じる学校
・教職員が学び合い、支え合い、働きがいを感じられる学校

【めざす子ども像】

〇めあてを持って、やりぬく子ども
〇「よさ・強み・持ち味」を十分に発揮できる子ども
〇自分を大切にし、他の人の幸せを願える子ども

【学部目標】

〇規則正しい生活への意識と、健康な身体を育てる。
〇自分を大切にし、周囲の人と助け合う気持ちを育てる。
〇自分の好きなことを増やし、豊かに生活する力を育てる。
〇自分のことを自分で決め、頼んだり実行したりする力を育てる。
〇地域の一員として、社会で働く力や生活する力を育てる。

４　各教室案内（知的障害教育部門）

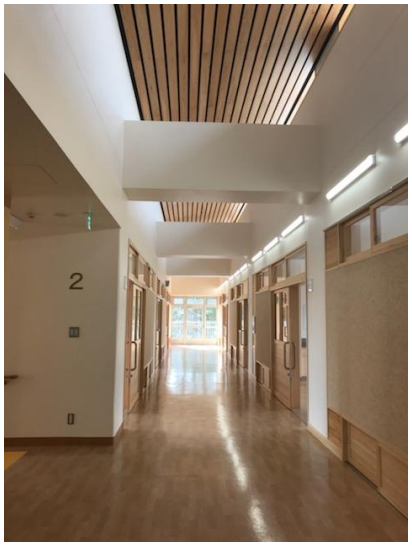
■新校舎（西棟）

平成３１年４月完成

・神奈川県産の木材を使用した木の香りのただよう明るい校舎です。
・みんなのトイレ、エレベーター、開口が大きく段差のない木製建具。
・音楽室、家庭科室は東棟のものを使用します。
・高等部だけでなく他学部・課程も利用しています。

外観

教室



廊下

5　学校の授業（日課表）

■ 時間割

９：００
登校

Ｇ高等部との
共同学習

	月	火	水	木	金
	日常生活の学習・朝の会				
1	体力作り	職業自立	体力作り	体力作り	職業自立
2	生活学		生活学	生活学	
3	暮らし学		暮らし学	暮らし学	
4	音楽	職業自立	マイチャレンジ	美術	LHR
5	体育		帰りの会		いぶきタイム
	帰りの会			帰りの会	

１５：１５
下校

１４：１５
下校

Ｇ高等部との
共同学習

5　学校の授業（各授業）

■ 体力づくり

高等部の一日は体力作りから始まります。
継続して取り組むことで、社会人として
働く上で必要な「体力」を身につけます。
晴れの日は富士山や大山・丹沢の山々に
見守られながら自然の中を元気に走ります。

■ 生活学（国語・数学・自立活動）

■ 暮らし学（社会・理科・家庭・情報・自立活動・道徳・総合の時間）

卒業後の生活に役立つような授業を日々実践するよう心がけています。
これらは社会人として働く上で必要な力となります。

5　学校の授業（各授業）

■マイチャレンジ

小グループでの学習
- 興味のある課題　（漢検・数検…）
- ソーシャルスキル　（人とのかかわり方）
- 自己の特性の理解と対応　（自分を知る）
- 個別面談　（必要に応じて）

■職業自立

「働く力」を育てる（作業学習を通して「自立」を目指す）
- 「仕事」という意識をもつ（指示に従う・正確に行う）
- 作業性の向上（上手にはやくできるように）
- 集中力、持続力、働く上での体力の向上
  （一定の時間・最後まで・疲れない体）
- ビジネスマナーを身につける
  （あいさつ・返事・報告・連絡・相談・身だしなみ）
- 安全への意識、ルールを守る意識をもつ

■いぶきタイム

週１コマ、同じ趣味を持つ仲間と学年を超えて楽しく活動をしています。ダンス部、音楽部のほか、運動部、写真・アート部、文芸部があります。

6　学校の行事

■遠足・宿泊学習

1年生は遠足に行きます。
2年生では宿泊学習があります。

■修学旅行

3年生では２泊３日で行います。

■いぶき祭(文化祭)

本校の一大イベントであるいぶき祭です。ステージ発表や販売、部活動の発表や作品展示など、生徒が主体となって作り上げます。

7　学校の給食

秦野支援学校落合校舎ではお子さんの発達段階に応じた食形態での給食の提供をしています

<献立一例>
ごはん
カマスのフライ
青菜の磯和え
具だくさん汁
牛乳

後期食は奥歯ですりつぶして食べることのできる固さを目安としています。

中期食は舌と上あごで押しつぶして食べることのできる固さを目安としています。

初期食はそのまま飲み込むことのできるペースト状を目安としています。

8　進路指導について（卒業後の進路）

■進路指導について

年に２回、企業や福祉事業所で現場実習または学校で校内実習を実施しています。複数の仕事を体験することで、生徒が自分に合った進路先を選択することができるように、日々指導しています。

■卒業後の進路（昨年度の進路状況）

卒業年度	卒業生徒数	企業就労	職業訓練機関	障害者福祉サービス					その他
				就労移行支援	就労継続支援A・B型	自立訓練	生活介護	地域活動センター	
令和４年	25	9	0	0	7	2	4	0	3

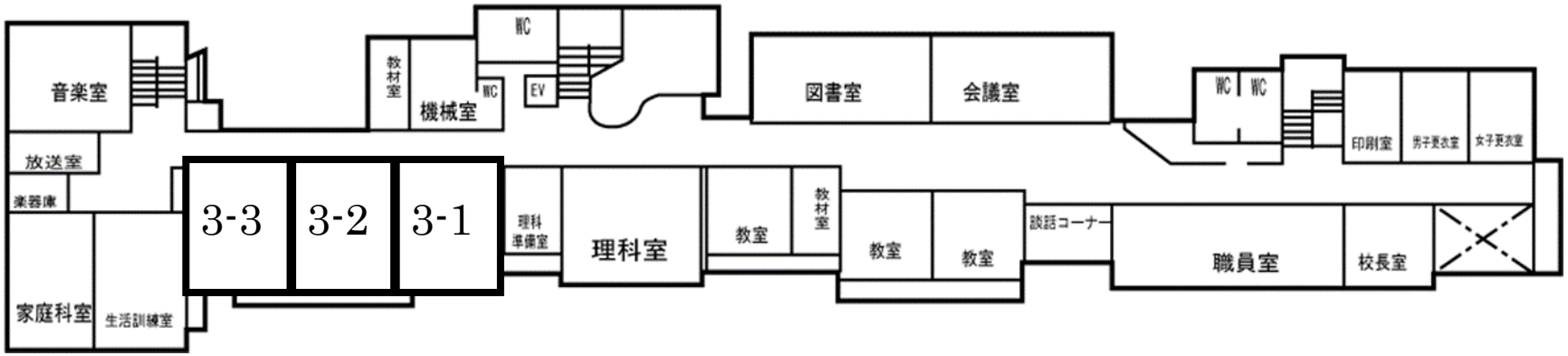
校舎・教室配置図(落合・東棟)

〈一階〉

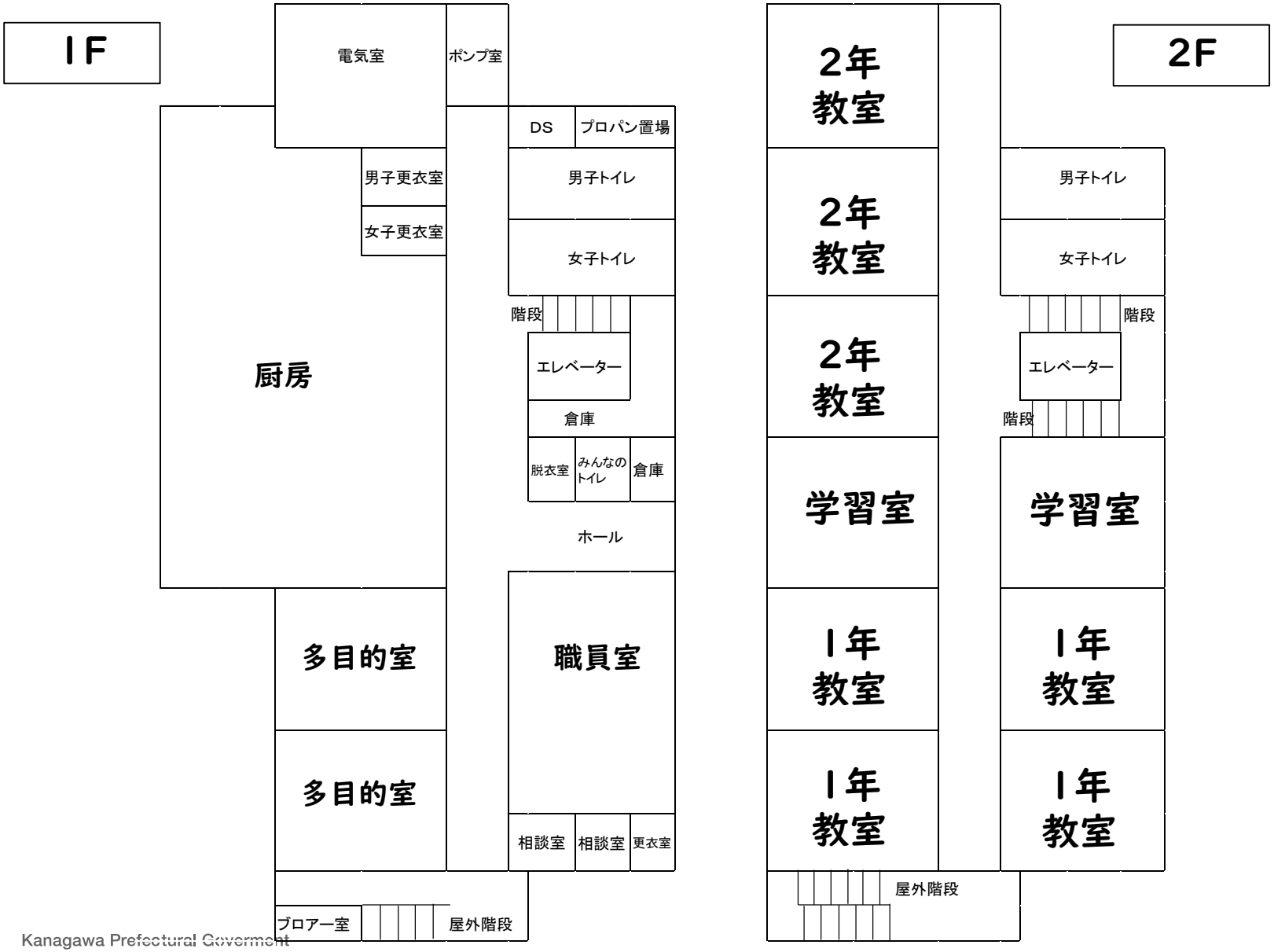
3-2

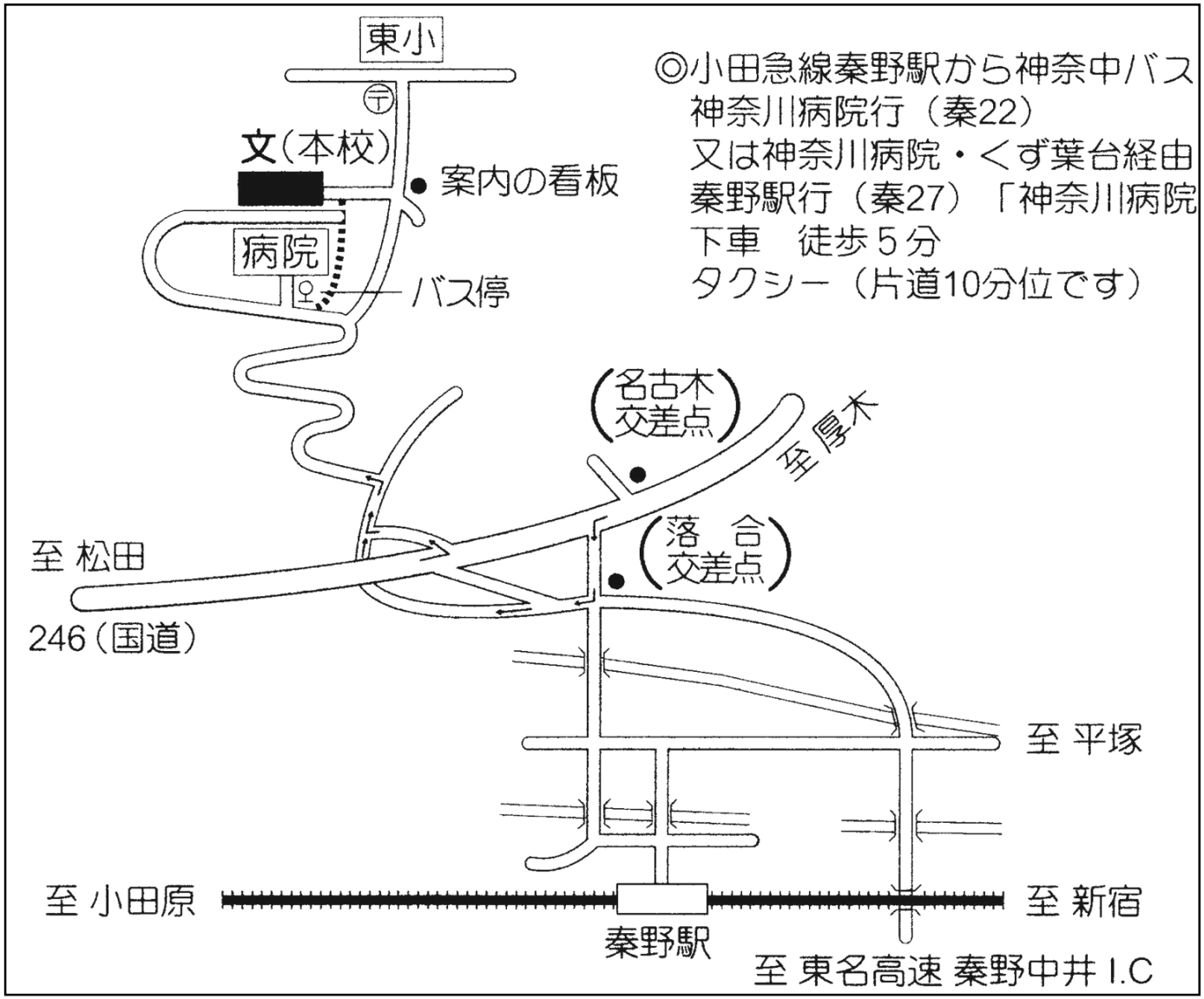
3-1

〈二階〉



校舎・教室配置図(落合・西棟)



Kanagawa Prefectural Government

学校までの案内図(通学について)